



# みなとオアシス伏木の周辺情報

みなとオアシス伏木の周辺には、“みなとまち”として栄えた地域の歴史スポットが数多くあります！

## ① 伏木コミュニティセンター 【代表施設】



伏木地区の地域振興や交流を深めるためのコミュニティー施設です。高岡市伏木支所、図書館、多目的ホール、会議室・研修室等があり、屋上の展望テラスからは伏木港と立山連峰の壮大なロケーションが一望できます。クルーズ船が伏木港に寄港した際には、おもてなしイベント会場として日本文化を体験してもらう等、交流拠点としても活用されています。

このほか、毎年5月15日に行われる伏木神社例大祭（通称「けんか山」）の展示ブースがあり、来訪者へのプロモーションも行われています。



## ② 万葉3号岸壁 【構成施設】



貨物船の荷役を図るとともに大規模地震直後における緊急物資の輸送活動を円滑に実施するために整備された、災害時の海上輸送の要となる耐震強化岸壁です。

また、大型クルーズ船寄港時の係留施設としても利用されており、世界最大クラスの約22万トン級大型クルーズ船が接岸可能です。



## ③ 万葉ふ頭緑地 【構成施設】



約3.5万㎡の起伏のある広場の中に芝生や植栽が整備され、ベンチや見晴台などもあり、時間の流れがゆったりと感じられる爽やかな海が見える公園。休日には家族連れで賑わっており、広場では野外イベントが行われるなど交流の場としても利用されています。



## ④ 国分海浜公園 【構成施設】



約3.6万㎡の広々とした海岸に、駐車場、東屋、トイレが整備されており、のんびりとできる海浜公園です。

夏には海水浴や水上バイク、サーフィンやスキューバダイビングなどを楽しみに多くの人が訪れています。



## ⑤ 勝興寺



雲龍山勝興寺は約30,000㎡の広大な境内を有し、本堂をはじめ12棟が国の重要文化財に指定。現在、大規模な保存修理工事を行っており、完成は2020年を予定しています。

また、この境内地は奈良時代の「越中国庁」の所在地であり、大伴家持が5年間政事を行った場所でもあります。

## ⑥ 高岡市万葉歴史館



1990年10月に開館した日本初の「万葉集」をテーマとした研究施設であり、常設展示や企画展、万葉集ゆかりの「四季の庭」や、屋上庭園からの立山連峰や奈呉の浦（富山湾）を眺望を通して、楽しみながら万葉の歴史を学ぶ事が出来ます。

## ⑦ 高岡市伏木北前船資料館



廻船問屋の町家である旧秋元家住宅を「伏木北前船資料館」として開放し、伏木と周辺の村々の歴史、当時の水運の様子を紹介するほか、古地図や引札、船主の生活道具など、貴重な資料を展示しています。

## ⑧ 高岡市伏木気象資料館



1883年に日本初の私立測候所として設立され、1887年には富山県に移管。その後国営となり、現在の富山地方気象台の業務移管を経て、2005年より高岡市伏木気象資料館として開館。2006年登録有形文化財に登録。

## ⑨ 伏木外港万葉東防波堤灯台



「伏木港開港の父」と評される藤井能三が1877年に私費で建設した日本海側初の西洋式灯明台を、1999年に開港100周年を記念して再現されました。